

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成26年5月1日 (2014.5.1)

【公開番号】特開2012-36375(P2012-36375A)

【公開日】平成24年2月23日 (2012.2.23)

【年通号数】公開・登録公報2012-008

【出願番号】特願2011-145561(P2011-145561)

【国際特許分類】

C 0 8 B 11/12 (2006.01)

【F I】

C 0 8 B 11/12

【手続補正書】

【提出日】平成26年3月13日 (2014.3.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

原料パルプを粉砕機により粉砕処理した後に、得られた粉砕処理物中のセルロースを、モノハロ酢酸又はその塩及びアルカリ剤と 40 ~ 100 で反応させるカルボキシメチルセルロースの製造方法であって、該粉砕機として容器駆動式媒体ミルを使用し、該モノハロ酢酸もしくはその塩、及び / 又はアルカリ剤を、該原料パルプの粉砕処理前又は粉砕処理中に該原料パルプと混合する工程を有する、カルボキシメチルセルロースの製造方法。

【請求項 2】

粉砕処理前の原料パルプを構成するセルロースの平均重合度が 1000 ~ 5000 である、請求項 1 に記載のカルボキシメチルセルロースの製造方法。

【請求項 3】

原料パルプとモノハロ酢酸又はその塩とを混合し粉砕処理する工程を有する、請求項 1 又は 2 に記載のカルボキシメチルセルロースの製造方法。

【請求項 4】

原料パルプとモノハロ酢酸又はその塩とを混合し粉砕処理した後、アルカリ剤を添加し更に粉砕処理する、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載のカルボキシメチルセルロースの製造方法。

【請求項 5】

粉砕処理前の原料パルプにモノハロ酢酸又はその塩を含浸させる工程を更に有する、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載のカルボキシメチルセルロースの製造方法。

【請求項 6】

原料パルプを構成するセルロースの無水グルコース単位に対するモノハロ酢酸又はその塩のモル当量比（モノハロ酢酸又はその塩 / 無水グルコース単位）が 0.3 ~ 3 である、請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載のカルボキシメチルセルロースの製造方法。

【請求項 7】

粉砕処理物をモノハロ酢酸又はその塩及びアルカリ剤と反応させる際、水分量が乾燥原料パルプ 100 重量部に対して 100 重量部以下である、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のカルボキシメチルセルロースの製造方法。